

女子ホッケーU21日本代表チーム オーストラリア遠征 (Canberra)

日付	2020年2月26日 10:30～		
場所	ACT Hockey Stadium	天候	晴
試合	第4戦	通算結果	日本 0勝 2敗 2分

Country		RESULT			Country	
日本 U21 JAPAN U21	2	0	-	1	2	オーストラリア AUSTRALIA
		1	-	0		
		1	-	0		
		0	-	1		

Minute	Shirt No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
31	1	青木 珠美			
X	3	尾本 桃子			
X	4	足立 依鞠			
X	5	立岩 奈那子			
X	6	岸 明日香			
9	7	佐野 優水			
X	8	小林 久留海			
X	9	小早川 志穂			
5	10	高島 瑠唯			
DNP	11	中込 紅莉			
X	12	中島 理子			
X	13	佐守 風香			
X	14	松本 愛理			
6	15	佐々木 杏果			
X	16	河合 珠音	47		
X	17	大類 かな			
9	18	大塚 美季			
DNP	19	五島 千那美			
9	20	真田 遥果			
9	21	西永 空			
H. Coach	小林 和典				
Coach	久我 晃広				
UMPIRE	BROWN Nicola				

Minute	Shirt No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
X	1	SHAND Hattie			
X	2	FITZPATRICK Kendra			
2	3	COLASURDO Isabella			
3	4	SCHONELL Courtney			
4	6	YOUNG Grace			
5	8	BLAMEY Morgan			
X	10	MATHISON Morgan			
X	12	UTRI Aisling			
X	14	JAMES Carly			
X	15	ARNOTT Alice			
X	17	GIBBS Annie			
X	18	REITH-SNARE Eva			
X	19	ROCKLIFF Renee			
X	20	SMITH Maddison			
5	22	de BROUGHE Emma			
5	23	HARRIS Ruby			
	29	HAMMOND Amy			
X	32	ASTBURY Hannah			
Coach	WHITE TIM				
Manager	WINCH Camilla				
UMPIRE	ROBERTSON Kristy				

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	21	尾本 桃子	PC	1-1
JPN	45	佐守 風香	FG	2-1

Team	Minute	Name	Action	Score
AUS	13	JAMES Carly	PC	0-1
AUS	49	ARNOTT Alice	PC	2-2

第1Q 2敗1分けで迎えた第4戦、一矢を報いたい日本チームは、試合開始から積極的に攻撃する。8分サークル中央でパスを受けた#13佐守がリバースシュート、これは左に大きく外れる。12分には#7佐野が右からサークル内に持ち込みPCを獲得する。バリエーションで右サイドのタッチを狙うものの、パスが合わず得点には至らない。このPCの反転からオーストラリアが速攻を仕掛け、一気に日本サークル内に侵入、PCを獲得する。これを#14JAMESがフリックシュート、日本DF#14松本がスティックに当てるがゴールに吸い込まれ、先制点を奪われる。

第2Q 得点を奪い勢いを増したオーストラリアは、16分に右サイドからサークルへ侵入しシュートを放つ。これに対して同点に追いつきたい日本は虎視眈々とチャンスを伺う。20分には右サイドでパスを受けた#16河合がそのままサークル内に入りリバースシュート、さらにその後のロングコーナーからこぼれ球を拾いブッシュシュート、いずれも相手DFの攻守に阻まれる。しかし21分、右サイドからサークルに入ると相手の反則を誘いPCを獲得する。これを#3尾本と#9小早川のワン・ツーパスから、最後は#3尾本がブッシュシュートをゴール左下に決め同点に追いつく。その後も日本が優勢に試合を進め、28分にもPCを獲得するが決めることができない。

第3Q 同点に追いつかれたオーストラリアはさらにギアを上げていく。後半開始から何度も23m内に侵入するが日本の固いDFに得点を奪うことができない。40分にはアウトレットから2本のパスでサークルイン、リバースシュート放つが、これは大きく枠を外す。41分には右からクロスボールがゴール前を通過するが、誰も合わすことができない。42分には再度PCを奪われフリックシュートを放たれるが、#1GK青木が好セーブを見せ追加点を許さない。オーストラリアの猛攻に耐えた日本は第3Q終了間際の45分、相手陣右サイド23m付近からのFHを#21西永が直接打ち込み、これに対して#13佐守がGK前でダイビングタッチシュートを決め逆転する。

第4Q 勢いに乗った日本は勝利に向けて第4Qに臨む。49分には#8小林が右サイドを突破、相手の反則を誘いPCを獲得、パッサーへのバリエーションを狙うものの反則を取られ相手ボールとなる。オーストラリアはこのFHを、速いスタートからボールを一気に日本サークルまで待ち込み、PCを獲得する。オーストラリアはこのPCをGK前でのタッチに確実に合わせ、同点に追いつく。その後もオーストラリアは猛攻を仕掛けるものの、日本の必死の守備に追加点をあげることができない。結局そのまま両チーム得点を挙げることはできず、2-2で試合が終了した。

日本	7	シュート数	12	オーストラリア
	5	PC数	7	

校閲: 女子U21ヘッドコーチ 小林 和典

記責: 女子U21コーチ 久我 晃広